

会員の便り

- ・大雪と石狩の自然を守る会
- ・北海道サーモン協会

資料入手ご希望の方は、直接ご請求ください。

○ 大雪と石狩の自然を守る会

・会報『ヌタフカムシペ』（08/12 通巻 138 号）

いつもながら美しい写真の表紙。今回は寺島代表の「忠別河畔のナナカマド」。雪帽子をかぶったナナカマドの房が藍染めの空に浮き出て美しい。

メインの記事は「北海道の森林と自然公園の未来を考える」（創立 35 周年記念「第 9 回大雪山フォーラム記念講演」柿澤宏昭氏：北海道大学大学院教授）

多くは国有林で占めた北海道の天然森林は蓄積量が低下してきている。一方、私有の人工林の供給が、輸入事情の変遷もあって増大している。しかし、供給される人工林は間伐よりも伐採が多く、経済的な事情から再び復元すべき植栽ができない状況で、持続的な森林管理になっていない。恒久的な森林管理はコストを下げる努力や、ブームに乗った保護策だけでは果たせるものではなく「いかに守っていくべきか」を先進地フィンランドの実況や、道内でも始められている取り組みなどを例にしながら「森林は全生物の生態系に繋がっておりその中には人間の生活も含まれる。森林管理は単独の地域や一部の努力だけで解決できるものではなく河川、農地、水を始め社会の繋がりとの中で、総合的な協力がなければ自然環境保護は成し得ない。一過性のブームではなく継続的、総合的にしっかり議論し対処することが必要」とうたえています。

《その他の記事》

石狩川に野生のサケを・これまでの歩み・会の動き・森を食い荒らす大規模林道

- ・冊子「**大規模林道はいけません**」大規模林道問題北海道ネットワーク（代表寺島一男）  
「森の豊かな生態系を壊す大規模林道はいらない！」その叫びを、問題の豊富な写真で挙げて解説した 15 ページの小冊子。

・冊子「**市民のためのサケ読本**」—あなたも里親に—

石狩川を野生のサケのふるさとに！と運動を進めてきた会が、今年は新たにさけますセンターとの共同でサケのふるさと創りに挑むことになりました（既報）。それに関連した市民向けのサケ解説、飼育方法の手引き書。

○ 北海道サーモン協会

・会報『**S a l m o n**』（12/20 No. 7）

「サケをシンボルに子供達に豊かなふるさとを」を掲げて様々な活動しており、年2回発行する会報にその状況を掲載している。

《会報No.7の主な記事》

- ・ 北方圏センターから表彰  
河川環境保全活動に対して受賞
- ・ 今年サケが獲れないのは何故？  
サモン君とランタ君の対談で原因を探る。
- ・ 30年余の夢の市民運動をどう受け継ぐ  
札幌市豊平川サケ科学館岡本館長の豊平川サケの現状について。市民講座の講演記録。
- ・ 好評を頂いた市民講座  
講演の他、サケ料理教室、市場のサケ全種類を並べた「おいしいサケ、健康サケの見分け方」の食育。
- ・ 食べて脳トレ！サケ道場  
「夏休み親子サケ祭り」として札幌中央卸売市場を会場に実施。市場の見学、サケの解剖、サケ料理実習、サケクイズ大会を実施。
- ・ 豊平川の清掃と産卵床観察会  
会員交流を兼ねた年2回の清掃観察会。
- ・ サーモンロードとサケ会議  
帯広で行われたサケ会議とネットワーク総会の紹介。
- ・ カナダ派遣団準備着々と  
今年春休みに小5～中2、16名をサケ学習国際交流に派遣する。
- ・ そのほか  
英語でサケを知ろう。 サケの7不思議「生けにえの巡礼」